

SSKR

CIL東大和通信

第11号

編集 NPO法人 自立生活センター・東大和
〒207-0013 東京都東大和市南街1-22-6 シティコート南街1F
TEL : 042-567-2622 FAX : 042-567-2912
EMAIL : cil-ymt@violin.ocn.ne.jp
発行所 東京都世田谷区砧6-26-21
障害者団体定期刊行物協会 定価 100円

昨年さくねんの今頃いまごろからホームページホームページ作成さくせいを始めて約一年間はじ、ようやく完成かんせいしました。ホームページには自立生活センターの軌跡きせきや活動内容かつどうないようについて、主に載せています。ホームページは以前にも作成したことがあり、技術面ぎじゆつめんで苦労くろうした点てんはそれほどありません…が。実はデザインセンスが乏しく、当初作成したものはデザインが地味なものになってしまいました。しかし、その後海老原さんにデザイン面での指示しじをもらいつつ試行錯誤しじやうさくごをくり返し、現在のデザインに到りました。

ちなみに、自分のオススメはつい最近追加したブログです。不定期更新ですが、事務所の職員じむしょの日常の一コマ・つぶやきつぶやきを掲載中けいざい中です。ぜひ一度ご覧下さい!! これからも定期的に更新していき、センターの「情報発信」の場として活躍していけたらと思います。(古川)

URL : <http://cilymt.fc2web.com>

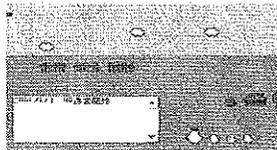
自立生活センター・東大和

- ・自立生活とは?
- ・自立生活センターってなに?
- ・どんなことをやっているの?
- ・ボランティア
- ・自立生活プログラム
- ・自立生活体験教室(TP)
- ・相談センター
- ・自立生活支援
- ・地域連携活動
- ・相談・情報提供
- ・お問い合わせ
- ・ボランティア募集
- ・スタッフ紹介
- ・所在地

～ごあいさつ～

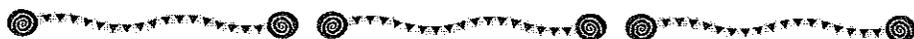
ようこそ! 自立生活センター東大和のホームページへ
2001年5月より立ち上げ、小さいながらも地道に活動をしています。
小規模だからこそできる、地域密着のサービスを、個性豊かなスタッフの仲間たちと日々試行錯誤しながら創ってきたいと思ひます。よろしくお願ひします☆

更新履歴



今年もダスキン研修生がやってきた!

ダスキンのアジア障害者リーダー育成事業の研修生を自立生活センター・東大和で受け入れるようになって3年目。バングラディシュ、ベトナムに続いてやってきたのはスリランカのラサンジャリさん。片足義足の女性です。研修に来た2月は、日本語の勉強が終わったばかりで、不安やホームシックですぐ泣いちゃう子です、と聞いていたのでちょっと心配していました。でも、なんのなんの。自身体験室での一人暮らしをかなりエンジョイしていて、「週末、スタッフのおうちにホームステイする？」と聞いても、「いえ、部屋の掃除をしてレポートを書くので大丈夫です!」と元気にフラれました(笑) スリランカでは親子で川の字になって一緒に寝ていたそうで、日本で初めて「一人の自由」を経験したようです。以下はスリランカにいるラサからお手紙です☆



わたしのなまいはラサンジャリです。7きせいのダスキンのけんしゅうせいです。スリランカからきました。2がつのついたちにひがしやまとCILセンターへこべつけんしゅうにいきました。そのセンターへくるまえにわたしはほんとにしんぱいしました。センターのひとはどんなひとですかとかそのときわたしはにほんごもちょっとだけわかりますからほんとにしんぱいしました。



でもセンターでたぶちさんやえびはらさんとスタッフのみんなにあっていろいろなはなしをしましたからだいじょうぶでした。わたしはにほんごがわからないときえびちゃんはえごでせつめをしましたからよくわかりました。

ひがしやまとしのセンターでえびちゃんとたぶちさんとみんなといしょにけんがくとかこぎにいてほんとにととてもあたらしいことをべんきょうになりました。ひがしやまとCILセンターでべんきょうしましたからいまわたしはじりつしょうがいしゃのうんどうのことよくわかっています。スリランカにはCILセンターがありませんからにほんにくるまでじりつせいかつについてしりませんでした。それでいろいろなおもいしょうがいしゃのひとたちにはじめてあってわたしはびっくりしま

した。みんなは かぞくが いたり いろいろな ところに ひとりで でかけた
り じりつせいかつを しています。 わたしも はじめて ひとりで せいかつ
を しました。これは わたしに とって あたらしい けいけんでした。 わた
しも さいしょは じぶんの しょうがいが あまりすぎじゃなかったけれども
ピアカウンセリングに ついて いっぱい べんきょうしましたから いまは
とても すきに なりました。にほんで じりつせいかつうんどうに ついて べ



んきょしましたから わたしの せ
いかつも とても かわりました。
いま わたしも なんでも できる
ように なりましたから とても
うれしいです。わたしは こべつけ
んしゅうに いろいろな センター
へ きましたけど ひがしやもと
CIL センターの べんきょうは
いちばんよかったです。

その センターで べんきょうだけ
じゃなくて あさくさとか かわごえとか デスニランドへも たぶちさんや え
びちゃんや スタッフの みんなと いっしょに いて とても たのしかった
です。たぶちさんや えびちゃんや みんなは とても やしゃしくて しんせつ
な ひとです。たぶちさんは いまも わたしのことを よくわかっています。ひ
がしやもと CIL センターで いっかげつぐらいの わたしの けんしゅうは
ほんとに よかったです。

ダスキンの けんしゅうは おわりましたから いま わたしは スリランカで
いろいろな しょうがいしゃの ひと いるだんたいで はたらいて います。ほ
んとに ひがしやもと CIL センターの たぶちさんや えびちゃんや スタ
ッフの みんなと ダスキンの みんなも ぜんぜん わすれませんが。ほんとに
みんなと あいませんから いま かなしくて しゃびしいです。



バーベキュー大会報告

7月15日(土)に、昭和記念公園にてバーベキュー大会を開催しました。開始時は晴天のバーベキュー日和だったのにも関わらず、開始後間もなく天気が急変し、大雨・突風・雷・雹という大惨事に見舞われ、参加者全員がずぶ濡れになるというハプニングがありました！今回は、幹事を務めた常田と小林が開催までの準備と開催後の感想を語り合いました。

小林：場所をどこにするか計画している段階では、4月の終わりに秋川溪谷と奥多摩の下見に行きましたね。両方とも綺麗でいい場所でしたね。

常田：設備の問題とかで両方とも無しになったけど、当日は大雨になったし、結果的には昭和記念公園にして良かったと思うよ(笑)



小林：はい。あの日もし河川敷にいたら命が危なかったです。

常田：当初は参加者を30名で予定していたけど、46名も参加してくれて今までで一番大きなイベントになったと思うよ。

小林：お互いバーベキューの幹事は初めてで、46人分の食材って、荷をどの位買ったらいいのか分からなくて悩みましたね。

常田：結果的には足りたしあれでちょうど良かったんじゃないかな。

小林：まあ、あの大雨のせいで、焼いて食べた時間は実質2時間も無かったですけどね。水溜りを食材がブカブカ浮いて流されていましたしねえ…。

常田：でも、バーベキューが終わったあと、利用者さんからは、「あんなハプニングがあつて楽しかった！ありがとう」って感想をたくさんもらいましたよ。



小林: 震災までは企画してなかったですけどね (笑) 忘れられない夏の思い出になりました。
 常田: みんなが野生児で良かったです。

《最後に》

常田: 皆さんのご協力のおかげで、あの嵐の中けが人も出ず無事終わることができました。ありがとうございました。

小林: アウトドアの醍醐味を十分味わいました。参加して下さった皆さま、ありがとうございました。



2006年自立生活プログラム (ILP) 報告カレンダー

今年他にもこんなプログラムを実施しました!

実施年月日	ILP名	内容	参加人数
4月1日	お花見	東大和市南公園にておでん☆	28名
4月16日	認定調査プログラム	障害程度区分を判定する為の認定調査の対策勉強会。	15名
4月27日	お散歩会	しながわ水族館へ!	9名
7月15日	B B Q ~!	昭和記念公園のB B Q会場にて。	46名
8月24日	高尾ピアガーデン	高尾山の展望レストランで☆	13名

東大和障害福祉ネットワーク設立!

東大和障害福祉ネットワーク 代表 海老原 宏美

私は脊髄性筋萎縮症という障害があり、日常生活にはほぼ全介助が必要です。

日中は酸素吸入をしつつ、夜間は人工呼吸機も使っています。しかし、現在は市内でアテンダント(介助者)のサポートを受けながら、一人暮らしをしています。東大和で自立生活を始めてもうすぐ丸5年目になります。

川崎出身の私は、始めは「東京は沢山の便利な制度があって、なんと生活しやすいのだろう!」と感動していました。しかしその内、市の窓口での、ある言葉が耳につくようになりました。それは「国が・都が決めたことなので何ともいえません。」という言葉です。確かに、上の行政が決めたことは変えられないことも沢山あると思います。しかし、東大和市には、市民が困っていることや不安な気持ちを一緒に分かち合い、共に工夫していきましょう、という姿勢が感じられず、放り出された感じがすることが度々ありました。

そんな時、どこに相談すればいいのだろう、市内の情報はどこから得たらいいのだろう、他の人はどうしているのだろう、など、行き場所がない現実がありました。特に、この4月から障害者自立支援法が始まり、障害を持つ人の制度が根本的に変わってきています。制度をどのように使ったらいいのかわからない人も沢山出てくるでしょう。

情報共有や相談の場がないなら、作ってしまえばいい!そこで、立ち上がったのが、この「東大和障害福祉ネットワーク」です。市内には、障害当事者も沢山いるし、作業所も、親の会も沢山あるのです。お互いが持っている情報をみんなで共有できたら、どんなに便利なことでしょう。もし、多くの人が共通して困っていることがあるのであれば、その声をまとめて市に届けることもできるでしょう。矢したくないと思っている情報が、実は他の人にとってはとても大事な情報かも知れません。「無知」ほど自分の立場を弱くしてしまうものはありません。「情報」という風を流し、福祉にとって通気性のいい街にしていきたいですね。どうすれば通気性が良くなるか、最初は試行錯誤かも知れません。しかし、とにかく、動いていくことに意義があると思います。是非、皆様のアイデアもお寄せください。趣旨に賛同してくださる方は会員さんとして歓迎いたします。そして、このネットワークは会員さんひとりひとりが主役です。どうぞよろしく

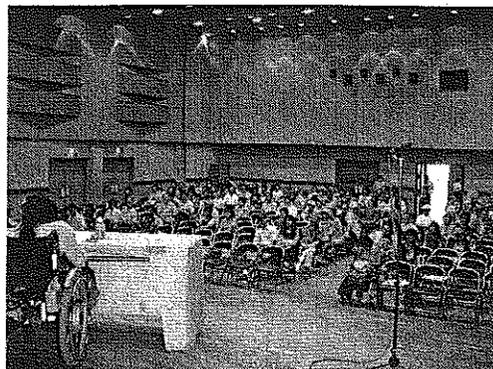
お願いします。



ネットワーグ設立を受け、去る7月13日に「東大和障害福祉ネットワーク設立シンポジウム：これからどうなる！？障害者自立支援法～届けよう私達の声～」を中央公民館大ホールにて開催いたしました。このシンポジウムには、東大和市と東大和市社会福祉協議会も後援についてくださり、当日は約

200人の方のご来場がありました。初代役員の紹介、会則の承認を経て、シンポジウムへ。シンポジストとしては、居宅介護サービスを受ける立場、作業所を運営する立場、作業所を利用する立場、自治体の制度を利用する立場からそれぞれアピールをしていただきました。

「措置から契約へ！」のスローガンを掲げて始まった「自己選択・自己決定」の支援費制度は、財政的な硬直に依って3年という短い寿命がつけました。支援費制度に代わる制度として現れた「障害者自立支援法」は経費削減のための制度に他なりません。代表的な改革が「一割負担」。誰もが好きで障害を持ったわけ



ではないのに、障害をもちながらも地域で障害のない人と同じように当たり前前の生活を送ることが「益」と見なされ、当たり前前の生活を「買う」ことを強制されているのです。

福祉がもはやボランティアというレベルではなく、ひとつの確立した「職業」として人が従事できるように、そして福祉サービスの利用者は「サービスの受け手」ではなく「サービス従事者の雇用者」という社会的な役割を担い、サービス提供者と対等な立場で生きるという概念が広まってくれ、心から願うとともに、そのような環境作りに励んでいきたいと思えます。

☆新スタッフ紹介☆

氏名：峯 宣之

生年月日：昭和49年1月22日

出身地：東京都

前職：老人ホーム職員

入職の経緯：

老人ホームにおいて新任の施設長と対立し居場所を失う。
上司に相談したところ当事業所を紹介される。

好きな言葉：忍耐、謙虚

好きな季節：春、秋、冬

嫌いなもの：

ゴキブリ (ヒトの致死量の一万倍の放射線を浴びても平気で生きていられるらしい)

尊敬する人：

柳 宗悦、中田英寿 (誕生日が同じなので何か縁を感じる、あと勝手に似ていると思い込んでいる。)

好きな場所：山地、高地、空

苦手な場所：海

好きな色：橙、黄

長く聴く音楽：GUN'S AND ROSE'S

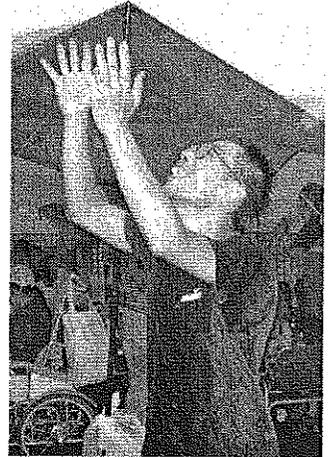
ポリシー：そんなものはない。

特技：時と場所と状況を選ばずに鳥肌を立てることができる。

性格：臆病、神経質、優柔不断、せっかち、扱いに困るくらい頑固。

最後に一言：

障害者も健常者もどちらでもない人もどちらでもよい人も、うまくやりましょう。
無理して笑うと疲れますので・・・。



5月からコーディネーターとして働いてます、堀越勢津子です。

CIL東大和に足を踏み入れて2年ちょっと、

CIL (自立生活センター) という場に関わり始めてからは9年目になります。

趣味は旅です。国内・海外問わず色々な人に出会って、

びっくりしたり、感動したり、深く考えたりすることが好きみたいです。

大学卒業後、旅行会社でツアーコンやチケット手配の仕事もしてたんですよ。

CIL東大和のスタッフもみんなあちこち飛び回っていることが

好きみたいです、この事務所は武勇伝の宝庫だなあ〜と常々感じます。

まだまだお会いしたことのない方ばかりですが、

CIL東大和で身長172cmの女を見かけたら、それがきっと

私です。

体育会系事務所で後れをとらぬよう頑張りますので、

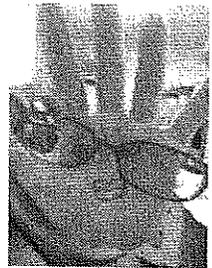
どうぞよろしくお願ひします。



6月^{がつ}から事務所^{じむしょ}で請求^{せいきゅう}やら会計^{かいけい}やらのお仕事^{しごと}をしています、石井真紀^{いしいまき}です。
利用者^{りようしや}さんやアテの皆さん^{みなさん}が事務所^{じむしょ}に来たときに「誰!^{たれ!}この人!^{このひと!}」って
ことにならないように、交流^{こうりゅう}できたらいいな、と思っています。
是非^{ぜひ}、事務所^{じむしょ}に遊び^{あそび}に来てください。
よろしくお願^{ねが}いします。

特技^{とくぎ}: 小^{しょう}・中^{ちゅう}・高^{こう}と無遅刻^{むちこく}・無欠席^{むけつせき}。

やりたいこと: テニス・プール・スノボー・・・すぽ一つ。



当事者^{とうじしや}の新スタッフ^{しんスタッフ}も増え^まました! ちょっと前^{まえ}に書^かいてもらったものですが、自立^{じりつ}後^{あと}初めて^{はじめて}
厚生労働省^{こうせいろうどうしょう}にデモ^{デモ}に行った時の感想^{こうきやう}を自己紹介^{じこしょうかい}代わりにどうぞ!

2006年^{ねん}1月^{がつ}26日^{にち} 厚労省^{こうろうしょう}前^{まえ}デモ

9時半^{じはん}に車^{くるま}で事務所^{じむしょ}を出発^{しゅつぱつ}し、厚労省^{こうろうしょう}に着^ついたのが11時半^{じはん}頃^{ころ}。
夕方^{ゆうがた}までとのことだったので、ホカロン^{ほかりん}をいたる所^{ところ}に貼り寒^{さむ}さ対策^{たいさく}
万全^{ばんぜん}で挑^{いど}みましたが、幸運^{きんうん}なことに日中^{にちちゅう}は日差^{ひさし}しが出来^でてぽかぽか陽気^{やうき}
でした。

厚労省^{こうろうしょう}に着^つくとすぐ、厚労省^{こうろうしょう}の地下^{ちか}にある食堂^{しょくどう}で昼食^{ちゅうしょく}を取りまし
た。ファミレス^{ファミレス}並^{なら}みに綺麗なフロア^{きれいなフロア}と格安^{かくやす}のメニュー^{メニュー}にまず驚^{おどろ}かされましたが、これ^{これ}も私^{わたし}た
ちの税金^{ぜいきん}で賄^{まかな}われているのか・・・と考えると手放^{てはな}しでは喜^{よろこ}べず、醤油^{しょうゆ}ラーメン^{ラーメン}を食べ^たながら
悶々^{もんもん}と感慨^{かんがい}に耽^{たづ}っていました。

昼食^{ちゅうしょく}が終わ^おると早速^{さつそく}厚労省^{こうろうしょう}前^{まえ}へ。既^{すで}に集^{しゅう}合^{ごう}している人^{ひと}たちと一緒^{いっしょ}に、歩道^{ほどう}を歩^{ある}いてい
る人^{ひと}たちにピラ^{ピラ}を配^{くば}りました。初^{はつ}体験^{たいけん}だったので、照^てれもあつて「お願^{ねが}いしまーす」の音^ねも恐^{おそ}
る恐^{おそ}る。そして誰^{たれ}も受け取^とってくれない現^{げん}実^{じつ}に、少^{せう}々^{じょうじょう}悲^{かな}しくなりながらも諦^{あきら}めず^{つづ}けて
いると、一^{ひとり}人^{ひと}だけ受け取^とってくれました。

シュプレヒコール^{シュプレヒコール}などを繰^かり返^かし、デモも終^ま盤^{ばん}に差^さし掛^かかったとき、海老原^{えいばら}さんか^なら半^{なか}
強^{こう}引^{いん}にマイク^{マイク}を渡^{わた}され、「今^{いま}思^{おも}っていること何^{なん}でもいいから言^いえ」と言^いわれ、突^{とつ}然^{ぜん}のこと^{こと}で何^{なん}
を言^いったらい^いいのかわからず、「そんな殺^{せつ}生^{しょう}なあ・・・」と内^{ない}心^{しん}思^{おも}いつつマイク^{マイク}を受け取^とりまし
た。緊^{きん}張^{ちやう}していたのでどん^{どん}な発^{はつ}言^{げん}をしたのかはよく覚^{おぼ}えていません。自^じ分^{ぶん}の名^な前^{まえ}はち^ちゃんと
言^いっていた気^きがします。多^た分^{ぶん}。

デモ^{デモ}が終^まわり事務所^{じむしょ}へ帰^かる頃^{ころ}にはす^すっか^かり疲^{へい}労^{ろう}困^{こん}ぱい^{ぱい}でしたが、今^{こん}回^{かい}のデモ^{デモ}は小^{しょう}規^き模^もでま
だまだ序^{じょ}の口^{くち}との事^{こと}。・・・今^{こん}後^ごに不^ふ安^{あん}を残^{のこ}す形^{かたち}で私^{わたし}のデモ^{デモ}デビュ^{デビュー}ーは終^まりました。

今^{いま}まで自^じ分^{ぶん}がし^しらな^なか^かただ^{だけ}で、た^たく^くさ^さん^んの^の人^{ひと}た^たち^ちの^の苦^く労^{ろう}が^があ^あつて法^{ほう}律^{りつ}は動^{うご}か^かされて^てき
たのだと、今^{こん}回^{かい}のデモ^{デモ}に参^{さん}加^かしてそ^それ^れがほ^ほん^んの^の少^{すこ}し^しだ^{だけ}わ^わか^かつた^た気^きが^がし^しま^ます。

事務所^{じむしょ}に着^ついてすぐ、煎^{せん}餅^{べい}をバ^バリ^リバ^バリと食^たべ始^{はじ}める先^{せん}輩^{ぱい}方^{かた}のタ^タフ^フさに、「いつか^{いつか}は私^{わたし}も・・・」
と心^{こころ}に誓^{ちか}つたのでした。

小林 景子

平成17年度 自立生活プログラム事業報告

実施日時	プログラム名	参加者数	内容
17.4.2	お花見	24	東大和南公園にて。桜満開の下でおでんでした☆
17.7.14-16	愛知万博	10	CIL東大和設立後初、宿泊付き外出イベント！名古屋の自立者さんのお家にホームステイさせて頂きました。
17.9.1	高尾ピアガーデン	11	東洋一急なケーブルカーを乗り越えて・・・。
17.8.19/20	利用者懇談会	17	日頃の事務所に対する思いなどをざっくばらんにどうぞ。
17.11.13	福祉祭	9	おしるこを作ってみたものの、暑くて・・・でも完売！
17.12.16	アテンダント忘年会	15	日頃の事務所に対する思いなどをざっくばらんにどうぞ。
17.12.17	クリスマス会	29	新事務所お披露目を兼ねて。仮装大会頑張りました。
18.2.23	お散歩会(浅草)	17	ダスキン研修生のラサと一緒に。
18.3.17/18	支援法説明会&連絡会	52	支援法改正に伴うサービス利用の変更、その他のお知らせです。
	自立支援相談	33人	個人相談・グループミーティング

昨年度は、大イベント多し！でした。万博！は現地で楽しみましょ～と言うより、介助制度をどう使っていくか、交通手段をどう選ぶか、荷物はどのくらいでどう持っていくか、会場内で荷をどういう順番で見るか、などを、自分達で考えて決めていく、ということプログラムにしたので、半年くらいかきましたね。でも、それが良かった、と好評でした☆ また、昨年度は、なんと2名の方が自立生活を始めたのです!! 住宅改造や制度の使い方、自薦アテンダントの募集・面接のサポートや派遣シフトの組み立て方など、お二人とも大変だったと思うけど、よく頑張りました☆当事者の活気がある街にしていましょね!

17年度 自立体験室STEP事業報告

自立生活体験室の利用 108人

従来どおり、直接自立を目指す使い方をするのは少ないながら、それでも新しい経験を積むための場所として利用されています。10月以降は短期入所の指定を取りますので、今後ともどうぞご利用ください！

17年度 移送サービス事業報告

実績	
登録利用会員数	90名
利用会員数	46名
延べ利用件数	840件
総年間運行時間	2,603時間
運転協力会員	4名
総年間運行キロ数	26,225 km

昨年度の運行実績はC1L東大和が始まって以来、最多の運行件数でした。一昨年度に比較して3割増加です。これもひとえに利用者さんの活動へのご理解とご協力の結果であると思っております。ありがとうございました。

本年10月に施行される改正道路運送法により、公共交通機関を使つての移動に制約を受けている方への移送事業が例外許可から道路運送法79条登録許可制に変わります。福祉有償運送という形で法令の中に盛り込まれておりますので、市区町村のホームページ等でご確認下さい。(…つまり、簡単に言うと、移送関連の法律が変わって、ちゃんとしたところに登録申請して許可された団体しか移送サービスを提供できないようになりましたよ、詳しくは、それぞれの市区町村で聞いてみてね、ということです)

C1L東大和でも、昨年8月から東京運輸局への登録準備を進め、多摩地域運営協議会での審査を通過して、平成18年7月19日付けで許可書を取得しました。(…つまり、C1L東大和はちゃんと許可されましたよ、ということです)

東京都には、このような移送事業をしている団体が150団体以上あります。長年の市民活動が社会的にも法的にも認知されたことは、活動に関わるものにとっての喜びであります。しかし、その反面、法律による制度化により規則の制約がかかり、

利用者さんにご迷惑をおかけしていることをこの場を借りてお詫び致します。(…つまり、法的に整った、ということは喜ばしいけど、そのせいで使いにくくなっちゃったところも沢山あって、やりたいのにできないってこともあるので、ごめんなさいね、ということです。)

私たちCIL東大和としては、どんなに重度の障害を持っていても、手段を選択できる環境さえ整っていれば社会参加できる、という理念を掲げ、これからも利用者さんに安心してご利用いただけるよう、努力していきたくと思っています。

＜会費納入のお願い＞

NPO法人 自立生活センター・東大和は皆様の会費が運営資金となっております。今後も障害を持っていても自分らしい地域生活を送るために必要な様々なサポートを提供していくためご協力をお願いいたします。



個人会員：3,000円/1口
賛助会員：3,000円/1口
団体会員：10,000円/1口

＜受付時間＞

平日 9:00～18:00

* 緊急連絡はいつでもつながります*

NPO法人 自立生活センター・東大和

〒207-0014

東京都東大和市南街1-22-6 シティコート南街1F

TEL : 042-567-2622

FAX : 042-567-2912

EMAIL : cil-ymt@violin.ocn.ne.jp



平成17年度特定非営利活動に係る会計収支計算書

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

(単位：円)

科目	金額		
(経常収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費・入会金収入 会費収入		264,000	
2 障害者地域生活支援事業 (1)自立生活プログラム活動収入 (2)ステップ活動収入	1,465,449 1,327,830	2,793,279	
3 事業収入 (1)移送サービス事業収入 (2)業務委託料収入	4,192,600 3,910,314	8,102,914	
4 補助金等収入 助成金収入		7,711,390	
5 寄付金収入 寄付金収入		167,974	
6 その他収入 利息収入 雑収入	15 2,700	2,715	
7 その他の事業会計からの繰入			
経常収入合計			19,042,272
II 経常支出の部			
1 障害者地域生活支援事業支出 (1)自立生活プログラム活動支出 (2)ステップ活動支出	4,011,803 1,912,450	5,924,253	
1 事業費 (1)移送サービス事業費 (4)業務委託事業費	4,201,858 5,811,113	10,012,971	
2 管理費 給料手当 法定福利費 旅費交通費 事務用品費 修繕費 諸会費 租税公課 支払手数料	218,532 84,718 9,500 106 116,500 235,050 2,500 38,010		

地代家賃	1,174,000		
賃借料	3,000		
社員寮費	720,000		
雑費	32,639	2,634,555	
経常支出合計			18,571,779
経常収支差額			470,493
Ⅲ その他資金収入の部			
1 固定資産売却収入			
その他の資金収入合計			
Ⅳ その他資金支出の部			
1 附属設備取得支出		210,000	
その他の資金支出合計			210,000
当期収支差額			260,493
前期繰越収支差額			△ 87,497
次期繰越収支差額			172,996
(正味財産増減の部)			
Ⅴ 正味財産増加の部			
1 資産増加額			
当期収支差額(再掲)	260,493		
附属設備購入額	210,000	470,493	
2 負債減少額			
増加額合計			470,493
Ⅵ 正味財産減少の部			
1 資産減少額			
当期収支差額(再掲)(マイナスの場合)			
附属設備減価償却額		46,900	
2 負債増加額			
減少額合計			46,900
当期正味財産増加額(又は減少額)			423,593
前期繰越正味財産額			665,898
当期正味財産合計			1,089,491